

HADANO MEISUI ROTARY CLUB WEEKLY

例会場 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355

事務所 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355

例会日 毎週木曜日 12時30分～13時30分

会 長 原 郁夫 幹 事 柳川清紀 会報委員長 桐山晃忠



ロータリー:変化をもたらす

2017年～2018年度国際ロータリー会長
イアンH. S. ライズリー

第1561回例会 2017年8月24日(木)(晴)

司 会 鈴木和夫副幹事

点 鐘 原郁夫会長

合 唱 「手に手つないで」(山谷洋子さん)

ビジター紹介 秦野市教育委員会委員長 望月 國男様

会社創業記念日 淵脇さん(9/1)

ご結婚記念日 前さん(8/24)

御誕生記念日 <会員>鈴木さん(8/27)、
<奥様・ご主人>淵脇忠夫さん(9/1)、
山本優子さん(9/1)

会長の時間

○8/23に中学生英語スピーチコンテストの実行委員会がありました。

今年度は9/17に18名の参加者により、文化会館で開催されます。当日は地区大会の会長・幹事会がありますので、仲野さんに代理出席をお願いしたいと思います。

○先般、地区協に参加された方に地区研修会報告書が来ておりますが、その中の新会員部門で津久井の佐藤さんの内容を皆さんにご紹介したいと思います。

抜粋ですが、『うちのクラブのモットーはロータリーは

義理人情ということがありました。会長・ガバナー・委員長さん方がおられますが、その間一生懸命やったかどうか、思いを受け継いで今度自分たちが会長をやる番だ、委員長をやるんだという気持ちでやってくる、そうしないとクラブは続いて行かない。だから自分たちも一生懸命やる。そうすると周りの人たちも次に協力して引き継いでくれる。そういうことでクラブも活性化して行く。』というように書かれています。

クラブの為ではないのですが、自分の時だけではなくまた翌年他の人に協力してクラブを盛り上げて行く、という気持ちが欲しいものだなあと感じます。是非皆さんのご協力をお願い致します。

幹事報告

【受付文書】

- ①米山記念奨学会より、ハイライトよねやま209
- ②神奈川県障害者自立生活支援センターより、「心のバリアフリー推進員養成研修講座」開催について
- ③かながわ2780ロータリーEクラブより、ウェブサイトドメイン変更のお知らせ
- ④米山梅吉記念館より、秋季例祭のご案内・賛助会ご入

会員数	34名
出席義務	33名
出席数	29名
出席率	85.29%
前々回の修正	—%

メイクアップ	【事前】瀬戸さん (8/15 秦野)・ 前さん(8/22 秦野)

本日のプログラム	8月17日 ○休会 8月24日 ○卓話 英語スピーチコンテストについて

次週のプログラム	8月31日 ○移動例会 親睦バス旅行 事業所見学

【例会変更】

- 《秦野》9月19日(火) →18日(月) 地区大会に振替
9月26日(火) →夜間例会 点鐘：17時
於：秦野商工会議所 4F
- 《秦野中》9月15日(金) →18日(月) 地区大会に振替
《伊勢原》9月13日(水) →夜間例会から通常例会
(ガバナー補佐訪問)
- 9月27日(水) →夜間例会(ガバナー公式訪問) 点鐘：18時

スマイル報告

- 原郁夫さん「秦野市教育委員長 望月様、名水ロータリー ようこそ。」
- 柳川清紀さん「望月先生、ようこそおいで下さいました。 よろしく願います。」
- 鈴木和夫さん「誕生日のお祝いありがとうございます。 スマイルします！」
- 大屋富茂さん「残暑が厳しいですネ！！夏バテ気味ですが、老体にムチ打って頑張ってます。会員各自ご自愛ください！！」
- 神崎達朗さん「スマイルします。」
- 北村まり子さん「スマイルします。」
- 木村眞澄さん「暑い日が続きますね。ご自愛ください。」
- 桐山晃忠さん「猛暑の中スマイルフェイスの様なスマイルします。ワカラナイ顔。」
- 兒玉秀夫さん「ごちそうサマーズにスマイル。早退します。」
- 関隆明さん「スマイルします。」
- 西村隆之さん「スマイルします。」
- 原恵美子さん「スマイルします。」
- 東島礼美さん「いよいよ来週親睦バス旅行です。よろしくお願い致します。」
- 古谷スミ子さん「8月23日は箱根板橋の地蔵堂にお参りに行ってきました。昔のようになにぎわいはありませんが、毎年の習慣です。参拝者は年配の方ばかりでした。」
- 諸星利男さん「やっと夏らしい日になりました。スマイルいたします。」
- 諸星道治さん「スマイルします。」
- 山本裕宣さん「妻の誕生記念日の祝い、ありがとうございます。」
- 山谷洋子さん「望月先生、今日の卓話楽しみにしています。宜しく願致します。」
- 米山君夫さん「この数日、暑さが戻ってきました。熱中症に注意し、こまめに水分を補充しましょう！スマイルします。」

○酒井健一さん「今日もたくさんのスマイルありがとうございます。」

合計 51,000 円

委員会及びその他の報告

＜親睦活動委員会 東島委員長＞

- 8/3に開催しました山田さんの歓迎会を無事に終了し、会計報告を回覧しておりますので目を通して下さい。
- 8/31の親睦バス旅行ですが、あと2名分の空きがあります。従業員の方でも結構ですので申し込みをお願い致します。

＜プログラム委員会 代理：柳川幹事＞

- 9月の例会予定をお知らせします。
- ①9月 7日(木) →通常例会 卓話：酒井さん
- ②9月14日(木) →通常例会 卓話：大屋さん
- ③9月21日(木) →例会変更 18日(月) 地区大会に振替
- ④9月28日(木) →通常例会 卓話：諸星常さん

卓 話

＜秦野市教育委員会委員長 望月 國男様＞
《中学生英語スピーチコンテストについて》



- これまで、本日のような卓話を何回かさせて頂きました。例えば、職場体験で中学生を預かっているがどうなっていますか？望月國男さんの学校経営論は？というような依頼もありました。また秦野市と国際交流についての話しをして欲しいということもありました。そして留学生との交歓会を持ちたいので留学生を紹介して欲しいとの依頼を受けて東海大学の留学生に声を掛けたりもしました。このように皆様にはいろいろお世話になっております。
- 今回は、中学生英語スピーチコンテストにつきまして名水RCを始め7つの団体からご支援を頂き、7回目を迎えることができました。本当に今の中学生は幸せだと思っております。
- 今、国際化時代というところから一歩脱皮して、グロー

ーバル化時代と言われるようになってきました。国際化時代というのは国と国が仲良くして他国との繋がりが深い関係から、世界は一つ、世界を国境がない共通の土俵として捉えるというグローバル化時代を迎えております。

それに対応して秦野の子供たちをどう育てていくかというのは我々教育者を始め大人の使命であるということから、英語スピーチコンテストを始めました。

○第1回から昨年までに、計78名の中学生が参加してくれました。そして資料の統計表を見て頂くと、学校の地域性が現れていると思います。

今までは15名を超えたことがありませんでしたが、今年は18名もの参加者が集まってくれました。これは申し込みと原稿締切を1週間ずらしたことによる効果だと思っています。

また資料には1回から6回までの参加者の氏名と学校・タイトルを表示してあります。これは皆さんの中で知っている方がおられるかもしれないとの思いで、もし知り合いの方がおられましたら「第〇〇回の英語スピーチコンテストで頑張ったじゃない」と是非励みの言葉を掛けて頂きたいと思ったわけです。この褒められることによってさらに英語学習への意欲が湧き、子供たちの自信にも繋がるわけです。

○先日都内の韓国の学校に視察に伺ったところ校内は英語を母国語とした外国人と大勢会いました。韓国は英語熱が非常に盛んで、小学校1年生から徹底的に先生から英語を仕込まれているわけです。

こういったことから、今年度は小学生にも声を掛けました。平成32年から小学5・6年生は2h/週英語を勉強します。これもグローバル化の対応の一環です。

学校によっては、英語の歌を歌っているところをビデオに撮りそれを文化会館で見せたり、また何か二人で英語のやり取りをするというように、それぞれ各学校で工夫しているところであります。このようなことから、今年は今までと少し違った雰囲気で開催できると思います。

○そこで審査基準ですが、今までは公表して来なかったわけですが実行委員会ではお話しをしています。資料にありますように5項目(内容・身体表現・声・語彙・文法)を各10点 合計50点です。審査員は4名となります。よって200点満点で序列を付け評価させていただきます。またオーディエンス賞があります。これは見に来て頂いた皆さんにどのスピーチが印象に残っているかを選んで頂いています。そして上位3名は韓国の坡州市にある英語村に派遣します。

○最後に、笠井重治先生の話しをご紹介しますと思います。

この方はアメリカで有名な方でして「雄弁は最高の芸術である」と言われました。雄弁、つまり弁論には思想・人格・哲学・執権すべてが含まれているということです。笠井さんは17歳で中学を卒業してすぐにアメリカに留学し、猛勉強してワシントン州の連合高等学校の雄弁大会で最優秀賞を取り、その後ノーベル賞の受賞者が一番多いシカゴ大学に入り、4年生の時に日米が戦争をせず仲良くしなければならぬと正義の心を訴えて雄弁大会で最優秀賞を獲得しました。とにかく今までの代議士の中でこの人に敵う人はいないだろうと、日本語の演説も相当上手かったとのことです。マンズフィールド駐日大使からは「稀に見る語学の鉄人」とまで言われています。

＜原会長から御礼の言葉＞



○英語スピーチコンテストのことは承知はしておりますが先日の実行委員会に出席し、初めて認識を深めました。先程山谷さんから、我々子供の時代からは違ってきたと伺いましたが、確かに我が家の小2の孫も授業で英語を始めたようでちょこちょこ英語を使ったり書いたりもしています。最初はこんな小2の子が学校で授業が始まっただけで・・・と思いましたが習慣とは恐ろしいなと思いました。今テレビやラジオで英語のCM等をいろいろやっていますが学ぶのではなく自然に慣らしてしまうということです。今後名水RCもどれ程協力できるか分かりませんがコンテストを始め、いろいろな形で市内の子供たちが英語に触れる機会・経験できる機会が増えて行ったら有難いと思っています。本日はありがとうございます。

